

R7 県新人バスケットボール競技 大会運営について（共通理解）

1. 会場での対策

- (1)フロアー入り口の扉、体育館出入口のドアなどは解放して換気をし、各種感染症リスク低下を図る。
- (2)水道にハンドソープを設置し、衛生管理を図る。
- (3)ゴミは、個人での持ち帰りを原則とする。(自動販売機での購入も含め、体育館のゴミ箱を使用しない)
- (4)入り口で必ず消毒をし、その後も手洗い・手指の消毒をこまめに行うよう呼びかける。
- (5)個人用のハンカチ・タオル・スクイズボトル等を持参する。それらの共用は厳禁とする。

2. 顧問・役員の先生

- (1)各地区の協力で試合会場は準備されているが、追加の準備が必要になった場合は、第1試合のチーム（含 TO チーム）生徒と顧問は協力する。片付けや清掃は最終試合で会場に残っているチームで行う。
- (2)チームが提出するもの及び受け取るもの

	提出物	大会事務局から受け取るもの
地区新人後速やかに	パンフレットデータ（様式は県バス協 HP の中体連ページにあります。） 送信先→清原中学校の小原先生まで（kiyo-j@ueis.ed.jp）	
代表者会議 （スリッパ持参）	①参加申込書 ②外部指導者申請・トレーナー申請 ③パンフレット代（@200×エントリー人数）	領収証 ※②の申請は登用するチームのみ
大会初日	会場主任にエントリー変更（該当チームのみ）※2日目は認めない。	パンフレット（本部にて受け取り）

- (3)フロアーでの朝の打ち合わせは行わないので、感染防止対策等の注意事項は、各校にて生徒・保護者に事前に周知徹底を図る。
- (4)ベンチ内の短パン・スウェットパンツの着用は不可とする。
フロアー内（チームベンチ向かい側の役員席等）は、スウェットパンツの着用は不可とする。

3. 選手・応援生徒

- (1)全部員入館可とする。マスクの着用は個人の判断とする。（マスク着脱の強要はしない。）
- (2)自チームの試合の1試合前の試合開始時間を目安に入館する。（極端に早く来ないようにする。）
第1試合のチームと第1試合 TO 担当チームは、開館時間に入館可能。
- (3)各チームは指定された座席エリア（校名表示あり）で試合を観戦したり待機をしたりする。
- (4)応援生徒（ベンチエントリー外生徒）は、自チームの試合時には入れ替え制の応援エリアに移動する。
- (5)TO は基本的に負けチームが行う。（最終日のTOは、TO部で手配できない場合は、ベスト4チームで及び5位決定戦に出場するチームで割り振る。）
- (6)試合中の生徒各自の荷物（ビニール袋に入れた靴含む）について
 - ① エントリー内の生徒→試合を行う自チームベンチエリアの後ろに置く。
 - ② エントリー外の生徒→応援エリアの各自の足元に置く。
 - ③ TO 生徒→TO 席の後ろに置く。

※荷物は整然と並べることが望ましい。観客席に荷物を置いたままにはしない。
- (7)円陣や「DEFENCE!! パンパン DEFENCE!!」のような声を揃えての応援は行ってもよいが、対戦相手が不快に感じるような行動や言葉は慎むこと。フリースロー時に故意に音を出して妨害する行為を行わないこと。ベンチにおけるペットボトル、メガホン、太鼓等の鳴り物の使用を禁止とする。
また、フロアを踏み鳴らすような行為も不可とする。
- (8)応援エリアや観客席での声出し応援は可とする。
- (9)試合後のベンチや観客席の消毒は、各チームで行う。除菌スプレーやシート等をチームで準備。
- (10)館内での食事は可。（入り口付近など、各アリーナで飲食不可となっているエリアでは不可）

(11)チームベンチで水分を補給する際は、スクイズボトルまたは水筒を使用すること。

4. 保護者について

- (1)自チームの試合開始時間を目安に入館する。フロアーには入らない。
- (2)選手や役員の動線となっているため、フロアー入り口付近や役員控室及び審判控室付近に行くことはしない。
- (3)入館する保護者は、所属チームを明確にするために、各中学校で使用している「保護者証」を首から下げること。(学校で使用する保護者証が無い場合は、部活動で準備する。)
- (4)自チームの試合時には入れ替え制の応援エリアに移動する。試合中、フラッシュ機能を使つての写真撮影は行わないこと。
- (5)自チームの試合観戦後は速やかに応援エリアから出る(入れ替え制)。
- (6)自チームの試合以外の観戦等で会場内に待機してもよい。
- (7)フロアー内での個人及び集合写真撮影は行わない。(大会業務遅延につながるため)
- (8)保護者の携帯電話を会場内で生徒に貸し出したり、生徒本人の携帯電話を会場内で生徒に渡したりはしない。
- (9)応援エリアや観客席での声出し応援は可とする。

5. その他

- (1) 管理職等の学校関係者は室内シューズを持参し、職員証を首から下げること。また、チーム関係者及び大会役員も必ずJBAのIDか職員証を首から下げること。
- (2)ベンチエリア及び観客席のチーム応援エリアからのビデオ撮影や写真撮影は可(ただしフラッシュ撮影は不可)とする。その際、次の事項を遵守すること。
 - ・動画サイトやSNSへの転載は禁止する。
 - ・映り込んだ他者に対して非難するコメントや、チームや大会の社会的評価を損なわせるような投稿は行わないこと。
 - ・生徒がタブレット端末等で撮影する場合は、顧問教諭が使用について十分に指導し、管理すること。(自チームの試合以外の時に、生徒がタブレット端末等を使用させないようにする。)
 - ・無人状態でのビデオカメラ設置は行わない。(盗難、破損の際の責任を大会本部で負えないため)
- (3)審判について、下記以外の内容は審判長の指示に従う。
 - ・レフリーマスクおよびホイッスルカバーは不要(使用については個人の判断)
 - ・JBAのIDカードは携行する
- (4)※ソックスの色→ソックスの色は、シャツおよびパンツと異なる色であっても良いが、全てのチームメンバーのソックスは、色、形状、デザインを統一しなければならない。
- (5)「2025 バスケットボール競技規則」を適用する。
- (6)チームスタッフおよびエントリーメンバーが違反行為により退場処分となった場合は、本専門部より当該者への指導を行う。(栃木県バスケットボール協会と協議の上進める。)
- (7)栃木県バスケットボール協会の指針を示した「バスケットボール10ヶ条」(パンフレットに記載予定)を大会前に部員および保護者に配付し(印刷は各中学校で行う)、周知徹底を図る。関係者の理解を深めることで、魅力あるバスケットボールの環境づくりを推進する。
- (8)役員席及び大会本部席からチームへの戦術的な指示は送らない。
- (9)同日に2試合を戦うチーム(男子の第4試合・第6試合)については、そのチームの1試合目終了後から1時間20分のインターバルの措置を取る。初日の第5試合と最終日(A・Bコート)の第3試合は、両コートの試合開始時間を合わせる。
- (10)最終日は、女子の最終試合後と男子の最終試合後に、それぞれ本部席前にて表彰を行う。